

三財小中学校 令和2年度学校評価

※ 評価は、4段階評価 4:そう思う 3:どちらかといえばそう思う 2:どちらかといえばそう思わない。 1:そう思わない

中期経営目標	本年度の重点目標	目標達成のための具体的実践	分析・考察						学校関係者評価委員意見		地域からの主な意見	保護者からの主な意見		
			1.2.3年	4.5.6年	7.8.9年	保護者	職員	地域	評価					
見える学力の向上	(1) 学びの財	1	・板書の工夫、めあて、まとめの明確化、発問、指示の工夫、ICTの活用など分かりやすい授業に取り組んでいる。 ・先生の授業は分かりやすい。 ・先生が分かるまで教えてくれる。	3.8	3.8	3.6	3.4	3.1	・授業が分かりやすい、先生が分かるまで教えてくれると評価した児童生徒の割合は高く、前年度より0.2～0.3ポイント上がっていることから職員の前向きな取組が評価されていると思われる。一方、分かりやすい授業に取り組んでいるという職員の割合は前年度同様低く、自己の課題を十分に解決できていない職員が多いことが分かる。	3.4 (3.0)	・勉強につきまといという話は聞かないので、丁寧な授業がなされているのではないかと感じる。 ・先生方が学力向上に向けて工夫しながら取り組んでいると感じる。 ・オンライン授業など将来を見据えた取組が良い。			
		2	・基礎学力の定着を図るための指導を行っている。 ・漢字や計算などを覚えようとしている。 ・漢字や計算など基礎的な学習を努力していると思う。	3.9	3.8	3.7	3.2	3.2	・基礎学力の定着については、低学年ほど意識して学習に取り組んでいることが分かる。特に中学生の評価は前年度より0.3ポイント上がっており、意識の変容が窺える。保護者の評価も前年度より0.3ポイント高くなっている。		・学力が上がっていることは数字を示してもらわないと保護者も地域の人も分からない、学力が上がったのであればもっと伝えたい方がよい。 ・自学自習ができる子供を育てて欲しい。勉強の仕方が分からない子供もいるのではないかと感じる。 ・家庭内での遊びの誘惑もあるのではないかと、学校任せにしていることも感じる。			
		3	・読書に親しむための指導を行っている。 ・よく本を読んでいる。 ・家庭で読書を薦めている。	3.6	3.2	2.6	2.7	2.5	・読書に親しむ指導については、低学年ほど徹底されており、よく本を読んでいるようであるが、中学生の読書に対する意識が十分でないことが分かる。この点については前年度と変化がなかった。保護者の読書に対する意識も十分でない。		・家庭で読書を薦めていないことが明確に出ている。			
		4	・将来の夢や希望をもてるような指導を行っている。 ・将来の夢をもっている。 ・子どもと一緒に将来の夢について話している。	3.8	3.4	3.2	3.2	3.1	・将来の夢をもったり、家族と話している割合が学年が上がるほど低い状況は前年度と変わっておらず、保護者の意識も同ポイントと変化がなかった。		・将来の夢や希望を家庭で話し合うのはもちろんだが、学校では夢や希望を叶えるプロセスなどを考えさせると良い。			
自己肯定感と豊かな人間性の育成	(2) 心の財	5	・問題行動(いじめ)などについて報告・連絡・相談を確実にし、迅速に対応するよう努めている。 ・誰とでも仲良くし、いじめをなくそうとしている。 ・家庭で、いじめをしないよう指導している。 ・学校外での子供たちのトラブルについて地域で対応できていると思う。	3.8	3.8	3.8	3.7	3.6	3.2	・いじめをなくそうとする意識は全ての学年で高く、特に中学生は前年度より0.4ポイント高くなった。また、家庭でも意識して指導されるようになっており、保護者の評価は前年度より0.7ポイントと大幅に高くなっている。	3.8 (3.7)	・いじめの話は聞かないが、クラス替えがないので関係が悪れると引きつってしまうのではないかと心配している保護者もいる。きめ細かな自配りを先生達にはお願いしたい。 ・いじめは絶対にダメだという意識は確実に浸透していると感じる。各家庭での意識も高く、良いと思う。	・児童が問題行動を起こした際、家庭への連絡・相談を行い不安解消、改善されているのか。支援をお願いしたい。 ・不登校の件も耳にするが、学校・家庭・地域が連携を図りしからでなく相談のつてあげられるように、よき理解者、相談相手、遠慮無くものが言える子供たちを育てたい。	・学校内での良いこと、悪いことが起こった時(特に悪いことが繰り返し起きる時は)、保護者へ対応を求めると良いと思う。良いこともご報告いただくと保護者も子供に対し励ますことができると思う。
		6	・あたりまえ三方案の指導を日常的に行っている。 ・あいさつ・返事・整理整頓をやっている。 ・家庭で挨拶・返事・整理整頓ができています。 ・児童生徒は地域で大きな声で挨拶や返事をしていると思う。	3.9	3.6	3.8	2.8	3.2	3.2	・あいさつ・返事・整理整頓に関する指導が浸透してきたよう児童生徒の意識は高く、前年度より0.4ポイント上がっている。しかしながら、家庭では十分指導されていない現状があることが分かる。また、職員もまだ十分でないと感じている割合が高く、具体的にどの部分がもっと十分なのか更に詳しく確認する必要がある。		・登下校の時には、小学生も中学生もきちんとあいさつしてくれるので安心して見ている。 ・校門に入るときに小学生が一礼をしている姿が素晴らしい。 ・あいさつは個人差がある。あたり前のことは家庭での指導が不十分だと思う。	・道で会うとよくあいさつしてくれる。交差点で十分注意しない横断することがあるようだ。登下校の安全指導をお願いしたい。 ・中学生の皆さんの返事や態度は素晴らしいと感じている。 ・どの子も元気にあいさつしてくれます。素晴らしい。 ・学校ではあいさつ等が良くできているが、家庭ではなかなか実行できないので、少しでも車に気が付いたらさっと一列になり、帽子を取って会釈してくれる子供が増えるといいなと感じる。 ・たまに目曜日に自転車で数人の子供たちが出かける姿を見かける。しっかりヘルメットをかぶり、あいさつもしてくれる。	
		7	・学校のきまりについての指導を徹底するとともに、日常指導の充実を図っている。 ・学校のきまりを守っている。 ・家庭できまりを守るよう指導している。 ・児童生徒は、きまりごとを守っていると思う。	4.0	3.9	3.8	3.5	3.2	3.3	・学校のきまりを守ることについて学校での指導が徹底された結果、児童生徒の評価は前年度より0.3～0.4ポイント上がっている。また、家庭でも指導されていることが分かる。しかし、職員の評価が低く職員間の意識のずれが生じている可能性もあり、指導レベルの統一が求められる。		・下校中にケンカしたり、遊んだりしながら帰っている児童をよく見る。事故などにならないよう心配。 ・中学生の自転車の併走がたまに見られた。注意すると素直に謝る。 ・学校できまりや交通規則が守られていると思う。		
		8	・全てのこに感謝の気持ちをもたせる指導を行っている。 ・ありがとうの気持ちをいつも持つようしている。 ・周りに感謝する気持ちをもっている。 ・児童生徒は周りに感謝する気持ちをもっていると思う。	3.8	3.8	3.8	3.4	3.5	3.0	・児童生徒は周りに感謝する気持ちをもっていることと答えた割合が高く、前年度同ポイントであることから学校・地域・家庭での様々な取組が感謝の気持ちをもっているようである。				
健康・安全意識と体力の向上	(3) 身体の財	9	・自分や身の回りの命の大切さを考えさせる指導を行っている。 ・自分や身の回りの命を大切にしている。 ・家庭で命の大切さについて話している。 ・児童生徒は自分や身の回りの命を大切にしていると思う。	3.8	4.0	3.9	3.5	3.2	3.3	・自分や身の回りの命を大切にしている児童生徒の割合は高く、高い評価であった昨年度よりも更に上がっている。家庭でも命の大切さについて話がなされているようである。学校と家庭の双方からの指導が行き届いていると思われる。	3.1 (3.3)	・外部講師を招いていのちの大切さを指導していることが十分伝わった。各家庭でも教育が行われていると思う。		
		10	・SSカード記入を定期的に行わせ、基本的な生活習慣の実態把握と保護者への啓発に努めている。 ・早寝・早起き・朝ご飯・歯磨きなど規則正しい生活をしている。 ・家庭で早寝・早起き・朝ご飯・歯磨きなど規則正しい生活を指導している。	3.7	3.6	3.7	3.4	3.3	・早寝・早起き・朝ご飯・歯磨きなど規則正しい生活を送っている児童生徒の割合はあまり高いとは言えない。保護者と職員の評価も低く、学校・家庭ともに課題を感じていることが分かる。臨時休業の期間に生活のリズムが乱れたことも原因と思われる。	・規則正しい生活などについては、家庭での取組が主体になると思う。学校は十分に取り組んでいると思う。				
		11	・体力向上プランに基づいた授業の充実と体力向上の活動の充実を努めている。 ・4月に比べて体力が向上している。 ・自力登校をしているなど、家庭で強い心や体力の向上につながる取組を薦めている。	3.9	3.6	3.4	3.3	2.8	3.1	・体力向上については学年が上がるほど不十分であると感じており、保護者も体力向上につながる取組を行っていないようである。また、職員も地域の方も現状では不十分であると感じている割合が高く、本校が抱える大きな課題と言える。		・体力向上に関しては、昔ほど外で積極的に遊ばなくなっているため、地域を含めての工夫が必要だと思う。		
教務・管理 信頼される学校づくり	教務・管理 信頼される学校づくり	12	・一貫校のメリットを生かした指導を行っている。 ・ステージの目標を達成しようと努力している。 ・学校は小中一貫校のメリットを生かした教育の推進をしていると思う。 ・小中一貫校になった良さは生かされていると思う。	3.8	3.7	3.7	3.3	3.2	3.6	・小中一貫校でのメリットを活かし、活気あふれる教育を行っていると思う。 ・中学を卒業して外に出て行くのが怖いという生徒がいるようだ。クラス替えもなく、顔を合わせるメンバーが小さいときからずっと同じなので、色々な人に合わせる機会を作った方がよい。 ・ステージ制は小学生と中学生が分かれておらず、小中一貫校しかできないことなので、良いと思う。 ・9学年制を用いてステージ毎に目標を持つことにかんしては良いと思う。 ・年上の人の良いところを真似したりして、見習っている。 ・小学生と中学生の中が良く面倒も見られるが、仲が良すぎて「馴れ合い」になることもある。	3.7 (3.4)	・よくまとまっていると思う。	・小中一貫で少人数もあって、年の離れた児童生徒と女だちになったりして喜んでいて、清掃時間によく交流しているようだ。 ・小中一貫校とは生徒皆が仲良くできていいことだと思う。でも小学生と中学生の違いをもう少し本人に分かってもらいたい。我が子も仲良くなりすぎて、自分よりも年上の人への接し方が分かっていない。家でも注意していきたい。 ・はじめは小中学校になることが良いのか?と悩んでいたが、今はいろんな事でうまく運営されていると満足している。自分の足(自転車)で登校できるのが一番。 ・下級生と上級生の仲が良すぎて、縦社会の勉強になっていないところもあるのではないかと。	
		13	・児童が地域の行事や活動に積極的に参加したいと思うような指導をしている。 ・地域の行事や活動に積極的に参加している。 ・地域の行事や活動に積極的に参加していると思う。 ・児童生徒は地域の行事や活動によく参加していると思う。	3.3	2.5	3.4	3.1	3.0	3.5	・児童生徒による地域の行事や活動への参加については、今年度はコロナウイルス感染症の影響で様々な取組が中止されたため、全ての回答者が満足できなかったと感じていることが分かる。		・ホームページは良く更新されていて、情報を発信できていると思う。	・ホーム・ページの情報がよく発信されていて楽しみにしているが、多くの保護者の方は知らないように見えないように感じる。もったいないと思う。保護者への宣伝をもう少ししたい方がよい。 ・ホームページを毎回楽しみにしている。	
		14	・通信やホームページを通して積極的に情報発信をしている。 ・学校のホームページを見ている。 ・学校は通信やホームページを通して積極的に情報発信をしていると思う。						3.3	3.5		3.2	・学校ホームページについては、頻繁にホームページを確認している保護者が多い一方、一度も見たことがないという声もあり、差が大きい。最新の情報を発信できるホームページの特徴を生かし、効果的で積極的に情報発信について考えていく必要がある。	・地域の人たちは学校を大切に思っているし、できるだけ協力したいと思っているので、今後も関わりをもっと欲しい。
15	・家庭・地域の人材を活用した取組を積極的にしている。 ・学校は家庭・地域と連携して教育を推進していると思う。						3.3	2.9		・観音様の上棟式に子供たちが参加してくれて、賑やかに出来たことはすごく嬉しく、高齢者共々今年一番の大きな喜びになった。 ・コロナの影響もあり、地域の行事に参加出来なかったようだ。				